



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 アシードホールディングス株式会社
コード番号 9959 URL <http://www.aseed-hd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営企画グループ担当 (氏名) 橋本 義徳

TEL 084-923-5552

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,901	△2.1	533	△15.9	520	△14.4	330	△14.3
25年3月期第3四半期	25,442	△3.9	635	△3.3	608	△4.8	385	△13.2

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 354百万円 (△4.2%) 25年3月期第3四半期 369百万円 (△16.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	51.15	—
25年3月期第3四半期	58.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	15,930	4,443	27.9	692.42
25年3月期	15,602	4,293	27.5	660.57

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 4,443百万円 25年3月期 4,293百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
25年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
26年3月期	—	8.00	—		
26年3月期(予想)				8.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,800	0.7	580	6.3	570	8.3	380	0.0	58.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,747,624 株	25年3月期	6,747,624 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	329,588 株	25年3月期	247,388 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	6,466,449 株	25年3月期3Q	6,554,095 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策の効果による円安・株高を背景として緩やかな回復傾向が続きました。しかしながら、欧州の金融不安や新興国の景気減速の影響に加え、円安による輸入物価の上昇や消費税率引上げ決定等の心理的影響もあり、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

自販機オペレーター（運営リテイル）業界におきましては、自販機のロケーションや設置台数の飽和状態が続くなか、過剰な設置・取引条件競争に加え、業種業態を超えた価格競争の激化に伴う収益性の低下などにより、業界再編が一段と加速しております。また、原発事故に起因した電力供給問題が引き続き社会的な関心を集めるなか、自販機産業はこれまでの量的拡大競争を大きく転換し、環境との調和を重視し社会性を高める事業構造への転換が強く求められております。

飲料製造事業におきましては、生産過程での燃料・電力料等のランニングコストの大幅な増加により粗利益等の減少など収益性の低下を余儀なくされました。これにより生産システムの改革と販売価格の値上げが喫緊の課題となっております。

このような状況のなか、当社グループでは引き続き積極的かつ政策的に自販機のリプレースを進めて効率化を図るとともに、フルライン自販機の推進により過剰に設置された自販機の集約化を図りました。また、自社ブランド商品の育成と徹底したコスト削減にも努め、収益構造改革に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 24,901百万円（前年同四半期比 2.1%減）、営業利益 533百万円（同 15.9%減）、経常利益 520百万円（同 14.4%減）、四半期純利益 330百万円（同 14.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

① 自販機運営リテイル事業

個人消費に回復の傾向がみられるものの、食品・飲料等に対する消費者の節約志向は依然として強く、オフィスや公共施設を中心に自販機では慎重な購買姿勢が続きました。また、同業他社やコンビニエンスストアなどの異業種との競争も一段と激しさを増しております。このような状況のなか、当社グループではアウトドアを中心に不採算自販機の計画的な撤去を進めるとともに、消費者ニーズに即した付加価値の高い商品を1台に集約して提供する「フルライン自販機」の推進と自社ブランド商品の育成に取り組みました。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は 15,684百万円（前年同四半期比 1.4%減）、セグメント利益は 454百万円（同 0.7%増）となりました。

② 飲料製造事業

夏季は記録的な猛暑となりましたが、9月以降は例年と比較して天候・気候の不順が続きました。この結果、ブランドオーナー各社が大幅な生産・在庫調整を実施したため、製造・受注面で計画を下回ることとなりました。また、急激な円安の進行による燃料費及び電力料金の大幅なコストアップに対しては、その他製造コストの更なる削減と製品価格の改定で対応することといたしました。しかしながら、厳しい経済環境のもと、価格改定の実施時期に一部遅れが生じております。

このような状況のなか、ブランドオーナーに対し高品質で価格訴求力の高い清涼飲料と低アルコール飲料を積極的に企画・提案するとともに、付加価値の高い自社ブランド飲料の製造・販売に取り組みました。

この結果、飲料製造事業の売上高は 8,891百万円（前年同四半期比 3.0%減）、セグメント利益は 243百万円（同 13.5%減）となりました。

③ 飲料サービスシステム事業

遊技人口の長期的な減少傾向には大きな変化はみられず、ホールの経営環境は引き続き厳しい状況にあります。このような状況のなか、遊技場等のお客様に対して、カップ飲料自販機のサービス価値を向上させる「アオゾンズ・カードシステム」の導入強化を図りましたが、店舗でのイベント広告規制やコスト削減などにより導入店舗における使用枚数は減少いたしました。

この結果、飲料サービスシステム事業の売上高は 274百万円（前年同四半期比 14.7%減）、セグメント利益は 34百万円（同 66.1%減）となりました。

④ 不動産運用事業

不動産運用事業による売上高は 51百万円（前年同四半期比 2.8%減）、セグメント利益は 88百万円（同 1.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、6,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ512百万円増加いたしました。これは現金及び預金の増加177百万円、受取手形及び売掛金の減少108百万円及び商品及び製品の増加273百万円等によるものです。また、固定資産は9,288百万円となり、前連結会計年度末に比べ、184百万円減少いたしました。これはリース資産(純額)の増加95百万円、のれんの減少60百万円及び長期前払費用の減少181百万円等によるものです。

この結果、総資産は15,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ328百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は8,817百万円となり、前連結会計年度末に比べ651百万円増加いたしました。これは買掛金の増加138百万円、短期借入金の増加610百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少184百万円及び未払金の増加152百万円等によるものです。また、固定負債は2,669百万円となり、前連結会計年度末に比べ473百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少476百万円等によるものです。

この結果、負債合計は11,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円増加いたしました。これは四半期純利益による増加330百万円及び剰余金の配当による減少116百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は27.9% (前連結会計年度末は27.5%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,091,868	1,269,685
受取手形及び売掛金	2,314,814	2,206,008
商品及び製品	1,035,099	1,308,892
原材料及び貯蔵品	226,463	212,826
前払費用	886,836	841,550
繰延税金資産	66,731	62,909
その他	512,969	746,054
貸倒引当金	△4,345	△4,958
流動資産合計	6,130,437	6,642,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,186,188	1,165,059
機械装置及び運搬具(純額)	415,296	389,180
工具、器具及び備品(純額)	31,612	29,462
土地	3,779,081	3,771,775
リース資産(純額)	955,690	1,050,792
建設仮勘定	61,552	79,373
有形固定資産合計	6,429,421	6,485,644
無形固定資産		
のれん	506,359	445,660
リース資産	42,414	31,906
その他	29,931	38,436
無形固定資産合計	578,705	516,002
投資その他の資産		
投資有価証券	624,743	654,917
長期貸付金	31,549	30,074
長期前払費用	1,077,113	895,463
繰延税金資産	227,007	202,488
その他	546,479	542,030
貸倒引当金	△42,899	△38,618
投資その他の資産合計	2,463,994	2,286,355
固定資産合計	9,472,121	9,288,002
資産合計	15,602,558	15,930,972

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,705,984	2,844,738
短期借入金	2,350,000	2,960,000
1年内返済予定の長期借入金	910,980	726,420
リース債務	324,880	344,886
未払金	766,674	919,553
未払法人税等	167,695	80,772
未払消費税等	85,404	68,727
繰延税金負債	55	—
賞与引当金	131,293	55,265
その他	723,032	817,463
流動負債合計	8,166,001	8,817,827
固定負債		
長期借入金	1,831,354	1,354,741
リース債務	766,496	836,021
再評価に係る繰延税金負債	41,564	40,019
退職給付引当金	124,003	132,450
役員退職慰労引当金	161,480	132,542
資産除去債務	2,800	2,800
その他	215,025	170,600
固定負債合計	3,142,722	2,669,176
負債合計	11,308,724	11,487,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	798,472	798,472
資本剰余金	1,012,778	1,012,778
利益剰余金	3,221,078	3,438,093
自己株式	△191,779	△279,113
株主資本合計	4,840,549	4,970,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,731	21,171
土地再評価差額金	△544,561	△547,392
為替換算調整勘定	△422	△40
その他の包括利益累計額合計	△546,715	△526,261
純資産合計	4,293,834	4,443,968
負債純資産合計	15,602,558	15,930,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	25,442,405	24,901,364
売上原価	16,537,819	16,192,949
売上総利益	8,904,585	8,708,415
販売費及び一般管理費	8,269,551	8,174,438
営業利益	635,034	533,976
営業外収益		
受取利息	4,240	4,651
受取配当金	6,805	6,958
不動産賃貸料	4,332	4,855
受取賃貸料	13,204	12,767
受取補償金	1,177	1,177
受取保険金	1,032	1,703
その他	27,707	30,032
営業外収益合計	58,501	62,147
営業外費用		
支払利息	67,454	58,073
その他	17,928	17,305
営業外費用合計	85,383	75,379
経常利益	608,153	520,744
特別利益		
固定資産売却益	7,307	52
投資有価証券売却益	25,130	7,015
特別利益合計	32,437	7,068
特別損失		
固定資産売却損	5,953	3,623
固定資産除却損	1,153	3,737
減損損失	2,918	7,306
投資有価証券売却損	5,547	250
投資有価証券評価損	—	683
その他	66	10
特別損失合計	15,639	15,612
税金等調整前四半期純利益	624,951	512,200
法人税、住民税及び事業税	220,607	164,065
法人税等調整額	18,620	17,383
法人税等合計	239,228	181,448
少数株主損益調整前四半期純利益	385,723	330,752
四半期純利益	385,723	330,752

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	385,723	330,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,326	22,902
為替換算調整勘定	82	381
その他の包括利益合計	△16,244	23,284
四半期包括利益	369,479	354,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,479	354,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,902,101	9,166,361	321,380	52,562	25,442,405	—	25,442,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,507	668,245	2,262	115,359	850,374	△850,374	—
計	15,966,608	9,834,606	323,643	167,921	26,292,779	△850,374	25,442,405
セグメント利益	451,042	281,343	102,752	87,469	922,607	△287,573	635,034

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,573千円には、セグメント間取引消去△2,291千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,759千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	飲料サービス システム事業	不動産運用 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,684,942	8,891,315	274,002	51,103	24,901,364	—	24,901,364
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,590	588,062	1,249	118,887	771,790	△771,790	—
計	15,748,533	9,479,377	275,252	169,991	25,673,155	△771,790	24,901,364
セグメント利益	454,003	243,425	34,850	88,981	821,260	△287,284	533,976

(注) 1. セグメント利益の調整額△287,284千円には、セグメント間取引消去1,178千円、のれんの償却額△7,522千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△280,940千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。